

平成29年度 事業計画

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

I 基本方針

我が国の65歳以上の高齢者人口は、平成24年に3,000万人を超え、総人口に占める割合も25%を超えており、さらに平成37年には3,657万人となり、約30%が高齢者となることが予測され、「本格的な高齢社会」をむかえています。

加須市においては、人口ピーク時の平成20年の高齢者人口は、22,979人で19.5%でしたが平成28年度には推計29,633人で26.4%に増加し、さらに平成37年度には推計34,321人で32.3%となり、高齢化の波が国以上に速いペースで進むことが予想されています。

シルバー人材センターは、定年退職後等の高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会を確保・提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化を図ることを目的としており、全国約72万人の会員が「福祉の受け手から社会の支え手」として、実践できるよう大きな期待がされています。

そうした中、加須市シルバー人材センター（以下「センター」という）は、平成24年4月には公益社団法人の認可を得て新たにスタートし、現在に至っております。

今日までの間、加須市をはじめ公益財団法人 いきいき埼玉 埼玉県シルバー人材センター連合など関係機関や市内の事業所並びに地域の皆様方より多大のご支援、ご協力をいただき参りました。今後もさらなる信頼関係を強めるとともに、公共や民間事業所からの受託の推進、更に一般市民からの業務の拡大を図り、シルバー人材センター事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」を活かして、センター自らの力で新しい仕事や社会活動の取組みを実践していきます。また、これまで以上にコンプライアンス（法令遵守）を最優先に事業を進め、特に昨年度策定しました中長期計画の初年度として着実に事業の推進を図り地域に密着した心のこもった仕事で社会に貢献し、魅力あるセンターの確立を目指し、次の施策を積極的に推進して参ります。

II 事業計画

1. 中・長期計画並びに施設整備事業計画の推進

中・長期計画は2年目であり、施策を継続的かつ着実に推進していかなければなりません。また、施設整備事業計画は平成30年度が最終年度となることから、整備順序について再調整も視野に入れ、計画的に推進して参ります。

2. いきいきと元気で働く仲間づくり (会員の増強)

- (1) 新規事業の展開による、会員活躍の場の拡充
新規事業の展開は、会員の就労の場を広げると共に新会員の掘り起こしを図ります。
- (2) 会員の育成
会員の安全と併せ技能アップのための研修会を実施し専門的な技術を身につけた会員の獲得と後継者の育成を図ります。また、昨年から始めた新会員研修も引き続き行います。
- (3) 普及啓発活動
年間を通じて毎月 4 会場での入会説明会に加え地域のイベントや各種団体等に出向きセンターのPRをいたします。また、シルバーだより発行にむけ広報委員会の充実を図ります。

3. 市民生活に深く根ざした仕事づくり (地域社会の活性化)

- (1) 新規事業の展開
 - ① 加須市や商工会等と共同し高齢者の新たな就業機会を創造する事業(地域就業機会創出・拡大事業)として、空家・空地管理事業が国の補助事業として採択され、一定の成果を上げてきました。2年目を迎える本年は、これまでの進め方を再検討し、また、市との調整を積極的に進め、就業の拡大を図って参ります。
 - ② 施設整備事業計画に位置付けされたシルバーサロン事業の取り組みについて調査・検討し建設に向けての準備をいたします。
 - ③ 加須市と連携し、高齢者等が地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するための介護予防・日常生活支援総合事業として、地域で活躍する人材の育成をし、就業につなげます。(加須市元気あっぷ訪問サービスB従事者研修、認知症サポーター養成講座等を実施)
- (2) 派遣事業の推進
会員の希望する仕事と企業からの仕事のマッチングが難しい状況ではあるが、工夫をし、高齢者の雇用機会の拡大を目的に、派遣事業を推進します。(高齢者活用・現役世代雇用サポート事業)
 - ・派遣コーディネーター2名の配置
 - ・就業延人員目標 2,500人日

4. 安全・健康、笑顔で働く職場づくり (生きがい就労の追及)

- (1) 安全意識の徹底
安全管理委員会の充実を図り、毎月各地域の就業場所のパトロールや安全就業講習等を計画的に実施し傷害事故並びに賠償事故件数「ゼロ」を目指します。
- (2) 適正就業の促進
「請負就業」「派遣就業」それぞれ適正な就業の促進に努めます。また、ローテーション就業を引き続き推進します。
- (3) 健康管理の促進
会員状況調査票を毎年提出してもらい、直近の健康状態を把握し、また市で実施している特定健康診査の受診を促します。
- (4) 生きがい支援
会員のサークル活動を支援し、今ある施設の有効活用を図ります。

5. 取り組みを支える基盤づくり (運営基盤の強化)

(1) 施設整備事業計画の推進

施設整備は、センター事業を支えるものでありまた会員の基盤（財産）であることから加須市のご理解を得ながら着実に推進いたします。

- ・本部事務所取得（土地、建物）

(2) 組織体制の整備

- ① 設置した部会及び委員会の推進を図ることで、理事及び会員が中心となって運営するセンターづくりの意識を高めて参ります。
- ② 会員及び発注者の利便性に配慮した効率、効果的な事務局体制の確立を図ります。

(3) 財政基盤の強化

- ① 事業内容及び経常経費の見直しを図ります。